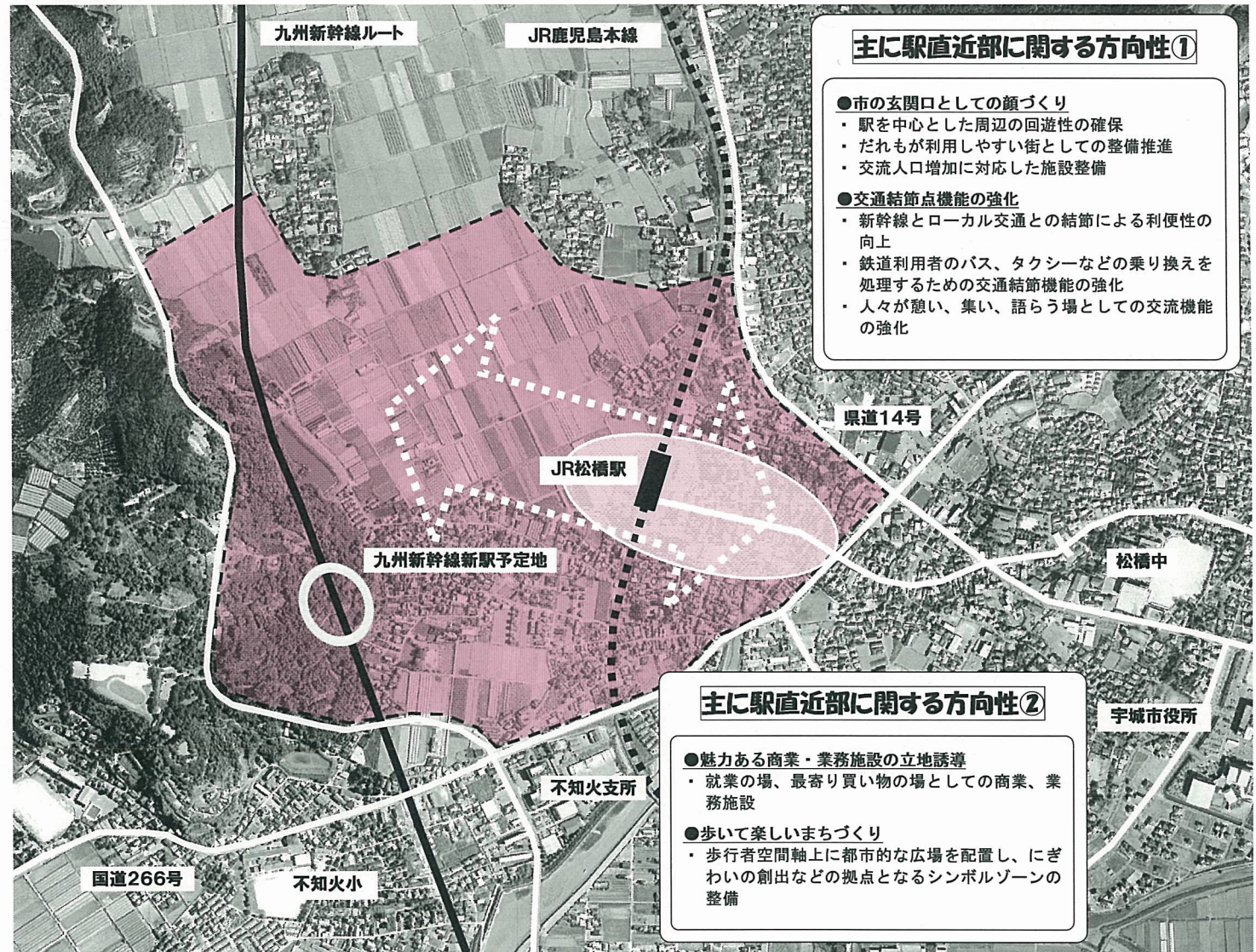


JR松橋駅周辺地域におけるまちづくりの方向性

全域に関する方向性

- 駅の東西地区の分断解消
 - ・駅の東西地区を安全、安心に往来できる動線確保
- 住民参加型のまちづくり
 - ・住民と行政のパートナーシップによるまちづくりの実践
 - ・質や個性等の多様なニーズへの対応
 - ・住民、団体、企業等の協働
- 民間活力によるまちづくり
 - ・市有地の有効活用による都市再生
 - ・民間ノウハウや資金を活用した持続的なまちづくりの展開
 - ・民間活力による商業施設の集積
- コンパクトシティ
 - ・都市機能をコンパクト化させることによる自然環境の保全
- 省エネのまち
 - ・廃棄物の発生抑制、再使用、再利用の3Rの取り組みの確立
- 災害に強いまちづくり
 - ・生活環境の整備改善（排水路等の整備）
 - ・無秩序な市街地の防止、良好な住宅地の供給、都市基盤施設の整備
 - ・避難地の確保、延焼防止、防災公園の整備
- ユニバーサルデザイン（UD）のまちづくり
 - ・まち全体が人にやさしいUDであるためのシステム検討
 - ・暮らしやすさや活動に支援、質的充実、移動の円滑化
- 医療・福祉施設の充実したまち
 - ・保険、医療サービスの充実と療育体制の確立
 - ・高齢者と子供たちがお互いに支えあう活力ある地域社会の形成
- 様々な所得階層が住める住宅地整備
 - ・段階ごとの所得層にあった宅地の提供



主に駅直近部に関する方向性①

- 市の玄関口としての顔づくり
 - ・駅を中心とした周辺の回遊性の確保
 - ・だれもが利用しやすい街としての整備推進
 - ・交流人口増加に対応した施設整備
- 交通結節点機能の強化
 - ・新幹線とローカル交通との結節による利便性の向上
 - ・鉄道利用者のバス、タクシーなどの乗り換えを処理するための交通結節機能の強化
 - ・人々が憩い、集い、語らう場としての交流機能の強化

主に駅直近部に関する方向性②

- 魅力ある商業・業務施設の立地誘導
 - ・就業の場、最寄り買い物の場としての商業、業務施設
- 歩いて楽しいまちづくり
 - ・歩行者空間軸上に都市的な広場を配置し、にぎわいの創出などの拠点となるシンボルゾーンの整備